

チンパンジーについて

チンパンジーは現存する動物たちの中で、私たちヒトに最も近い種です。そのため物の見え方や、道具を作ったり使ったりできるような手の器用さ、表情の多様さ、仲間同士でとるコミュニケーションの複雑さなど、私たちヒトに似ているところがたくさんあります。アフリカの熱帯雨林からサバンナまで幅広い環境で暮らしていますが残念なことに、生息地の破壊や密猟などにより野生では生息数が減少しています。

——山梨裕美(京都市動物園首席研究員)

「KYOTO STEAM—世界文化交流祭—」は、「KYOTO CULTIVATES PROJECT」の理念(京都は耕す、育む、磨く)を体現し、京都賞が先駆的に示してきた人類の未来への願いとも共鳴した、アート×サイエンス・テクノロジーをテーマに開催する新しい文化・芸術の祭典です。

2020年度は、2021年度に京都岡崎を中心に開催する第2回目となるフェスティバル「KYOTO STEAM—世界文化交流祭—2022」に向け、プレ事業を開催します。

※STEAMとは…Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Arts(芸術)、Mathematics(数学)

アート×サイエンス IN 京都市動物園

アートで感じる？ チンパンジーの気持ち

【プロジェクトメンバー】

坂本英房 (京都市動物園園長、KYOTO STEAM—世界文化交流祭— 実行委員会 チーフディレクター)

青木陵子 + 伊藤存 (アーティスト)

山梨裕美 (京都市動物園生き物・学び・研究センター 首席研究員)

狩野文浩 (熊本サテックアカデミー・京都大学野生動物研究センター 特定准教授)

一方井祐子 (東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構 特任研究員)

吉田信明 (公益財団法人京都高度技術研究所 主任研究員)

岩城寛久 (近畿大学文芸学部文化デザイン学科 准教授)

【協力】 京都大学野生動物研究センター

【主催・問い合わせ先】

KYOTO STEAM—世界文化交流祭—実行委員会

Executive Committee of KYOTO STEAM—International Arts × Science Festival

〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1 京都市国際交流会館内

(京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課)

TEL : 075-752-2212 FAX : 075-752-2233 MAIL : info@kyoto-steam.org

平日8:45~17:30 ※祝日/年末年始(12月29日~1月3日)を除く

公式WEBサイト: kyoto-steam.com



公式WEB



@kyoto_steam



kyotosteam_official



手指のこまめな消毒をしましょう。



マスクを着用しましょう。



体調不良の方はご来場をお控えください。



周りの人との間隔をとりましょう。

「京都市新型コロナあんしん追跡サービス」をご利用ください。



パンフレットデザイン: 中村亮太(株式会社スタジオオパウ)
チンパンジー3Dイラスト: 山本悠



KYOTO STEAM—世界文化交流祭—2022 prologue

KYOTO STEAM—International Arts × Science Festival: 2022 Prologue

アート×サイエンス IN 京都市動物園

アートで感じる？ チンパンジーの気持ち

ART AND SCIENCE IN KYOTO CITY ZOO

SENSING THE FEELINGS OF A CHIMPANZEE THROUGH ART

2021.3.20[土・祝]~3.28[日] 京都市動物園 類人猿舎屋内観覧通路

各日10:00~15:00 ※3.22[月]休園日 無料(ただし、入園料は別途必要)

ヒトにとってアートとは何か。ヒトに最も近い動物であるチンパンジーに寄り添い、アーティストと研究者がこの根源的な問いに迫るプログラム。

今年度は様々な素材や映像に対する、チンパンジーの多様な反応を調べ、その記録映像と素材等の展示を行います。また、会期中はアーティストと研究者等によるトークツアーを実施します。

世界的にも希少な取組であるアートを用いた環境エンリッチメント(*)の開発と、動物園の新たな飼育動物の展示方法を探るプロジェクトにご注目ください！

(*)環境エンリッチメント(environmental enrichment)とは、動物福祉の立場から、飼育動物の「幸福な暮らし」を実現するための方策のこと。本プロジェクトでは、チンパンジーたちの飼育環境が、野生のチンパンジーと比べると、狭く、変化の少ないものになりがちであることから、飼育環境にアートを取り入れることで、豊かな環境を生み出す試みを行っています。

CHIMPANZEE'S PROFILE チンパンジーのプロフィール



ジェームス (27歳)

この群の第一位のオス。みんなが挨拶にきます。強面で繊細なところもありますが、なんだかんだで優しいおじさん。興奮すると毛を逆立ててパタパタと足音を立てて騒がしくなります。男同士で遊んでいる時などには独特の味わい深い笑顔を見せます。



タカシ (32歳)

マイペースなおじさん。くりっとした目と頭髪がいつも立ち気味なのが特徴。他のチンパンジーから少し離れてのんびりしていることも多いです。おいしいごはんには目がなく、最後まで細かい食べ物を探し続ける才能を持ちます。



ニイニ (8歳)

2013年生まれのやんちゃ坊主。若さ溢れる動きと好奇心でいろんなことをやってのけます。ただし、いいことばかりではなく揉め事もしょっちゅう引き起こしますが、こどもから大人へと変化しゆく、複雑な年頃に差し掛かり中。ロジャーの良き兄貴。



ロジャー (2歳)

2018年生まれの子。チンパンジーとして暮らすためのスキルをいろんな個体から学んで身につけているところです。時々毛を逆立てて威嚇したりしていますが、まだまだお母さんからお乳をもらっているかわいい赤ちゃんです。



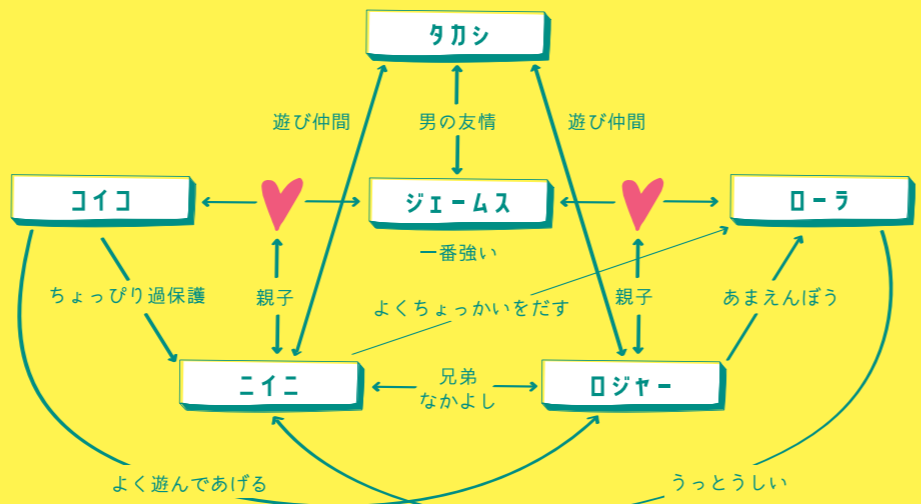
コイコ (推定44歳)

この群唯一の野生生まれのチンパンジー。基本的には優しい性格で、新しいものにも物怖じしない貴族のあるタイプではあります。しかし、息子のニイニのことになると我を失い恐ろしい形相で大騒ぎすることもあります。寝る前のベッド作りが上手。



ローラ (30歳)

つぶらな瞳と整った顔が特徴的な美人。第一子のロジャーを子育て中。新しいものにはなかなか近づこうとしない慎重なところがあります。最近、やんちゃ坊主のニイニに絡まれて苦労しているところもよく見かけます。



ABOUT EXHIBITION 展示について

3年目を迎える本プロジェクトは、今年度はアーティストの青木陵子さんと伊藤存さんとともに、チンパンジーの生態や興味について、サイエンティストたちと対話を重ねてきました。そして4回にわたって、様々な素材と映像に対するチンパンジーの多様な反応に触れてきました。まだまだ試行途中で

すが、本展示では、これまでの成果を映像にて発表します。チンパンジーの生活を豊かにするものとは、また我々にとってのアートとは何かについて思いを巡らせながら、本展示をお楽しみください。
—— KYOTO STEAM—世界文化交流祭—実行委員会

「チンパンジーのしているもの」
チンパンジーがどんなものに興味を示すのか、今は色々なものを見せて探っています。興味深そうに寄ってきて触ったり、仕組みを気にしたりと反応は様々で面白いのですが、どうもチンパンジーは飽きっぽいようで、どんなものもずっと前にいて見続ける事はありません。こちらからすると、もっと長い間集中して見ないかなと期待してしまうのですが、野生の世界では何かに没頭する事は危険な事かもしれません。そんな風に考えると、チンパンジーの飽きっぽさは野性的な優れた見方と思えます。私達が見ている世界とは少し違う世界があるような気がしてきました。人とは見る尺度の違う分からない世界の事を考えるのは、なかなか難しい事ですが、楽しい事でもあります。チンパンジーの見る世界に刺激を受けて、いつもは考えられないような新しい作品ができれば良いと考えています。
—— 青木陵子+伊藤存(アーティスト)

試行プロセス

2020年12月~2021年2月にかけて、チンパンジーの部屋にさまざまな素材や形の物体を入れてみたり、映像を投影してチンパンジーがどのような反応を示すのか観察しました。

day 1
様々な大きさの紙袋を重ねたもの、くしゃくしゃの紙、クネクネ棒を入れてみて、チンパンジーが自分で触ったり、形を変えたりする様子を観察する。

day 3
アニメーションと、チンパンジーの映像を見せて、それぞれの反応の違いを観察する。

day 2
大きな布と伸び縮みする紙の蛇腹を入れてみて、どのように触ったり、遊ぶのかを観察する。

day 4
チンパンジーの顔写真から絵画作品に変化するモーフィング映像を見せたり、チンパンジーの反応に合わせて映像を変化させたりして、どのように映像を見るかを観察する。

TALK TOUR トークツアー



研究者やアーティスト等が、プログラムの舞台裏やチンパンジーの反応についてお話しします。開始5分前に、類人猿舎屋内観覧通路西側(ペンギン側)出入口に集合してください。

3. 20(土・祝) 3. 21(日) 3. 27(土) 3. 28(日)
各日10:30~ / 14:30~ (各回30分程度)
定員：各回10人程度(先着) **申込不要**

SCHEDULE & THEME スケジュール&テーマ ※予告なく変更することがあります。

出演者：坂本英房(京都市動物園園長、KYOTO STEAM—世界文化交流祭—実行委員会 チーフディレクター)
山梨裕美(京都市動物園生き物・学び・研究センター 主席研究員) / 高木直子(京都市動物園種の保存展示課係長)
岩城覚久(近畿大学文芸学部文化デザイン学科准教授) / 田中正之(京都市動物園生き物・学び・研究センターセンター長)
青木陵子(アーティスト) / 伊藤存(アーティスト)
上村絵梨子(KYOTOSTEAM—世界文化交流祭—実行委員会アートコーディネーター)

日時	出演者	トークテーマ
3. 20(土・祝)	10:30 山梨裕美 / 青木陵子 / 伊藤存	●動物園の環境エンリッチメントについて ●今回の取組と今後の展望について
	14:30 山梨裕美 / 青木陵子 / 伊藤存	●動物園の環境エンリッチメントについて ●今回の取組と今後の展望について
3. 21(日)	10:30 無観客 坂本英房 / 青木陵子 / 上村絵梨子	オンライン配信! ●園長さんとおさんぽコロガ企画 京都市動物園×KYOTO STEAM
	14:30 山梨裕美 / 岩城覚久 / 伊藤存	●チンパンジーが映像を見ることについて —アーティスト・研究者の視点から
3. 27(土)	10:30 田中正之 / 青木陵子 / 伊藤存	●チンパンジーのお勉強の時間にアートを取り入れる可能性
	14:30 高木直子 / 青木陵子 / 伊藤存	●アートを取り入れた飼育方法の可能性
3. 28(日)	10:30 山梨裕美 / 青木陵子 / 伊藤存	●チンパンジーとヒトにとってアートとは?
	14:30 山梨裕美 / 青木陵子 / 伊藤存	●チンパンジーの生活を豊かにすることについて来園者とともに考える